

平成 30 年 3 月 29 日
問い合わせ先
道路建設課 日野、富野
TEL089 - 948 - 6570

市道久米 2 4 1 号線の事業概要について

市道久米241号線は、地域高規格道路松山外環状道路のうち、国道11号から国道33号までの区間（松山外環状道路インター東線（仮称））の一部を構成する約1.6Kmの道路です。

当該路線の事業の必要性・効果等を示した事業概要を松山市ホームページに掲載しました。

◆事業概要

- (1) 路線・工区名 市道久米 241 号線
- (2) 事業主体 愛媛県松山市
- (3) 事業箇所 松山市北土居 2 丁目～松山市来住町
- (4) 事業内容

当該路線は、I Cアクセス道路としてすでに整備が進んでいる国道 33 号から松山空港までの区間と合わせ、松山都市圏の渋滞緩和、物流効率化の支援、観光地へのアクセス性向上等のため整備します。

- ・ 事業費 約 8 2 億円
- ・ 整備延長 1. 6 Km

(5) 事業の必要性

国道11号から国道33号までの区間（松山外環状道路インター東線（仮称））で、自動車専用道路等を整備する国と協同で、本市が市道久米241号線を整備することで、主要幹線道路の渋滞緩和、周辺生活道路の安全性向上、また高速道路ネットワーク機能の強化により物流・人流の拡大が期待できます。

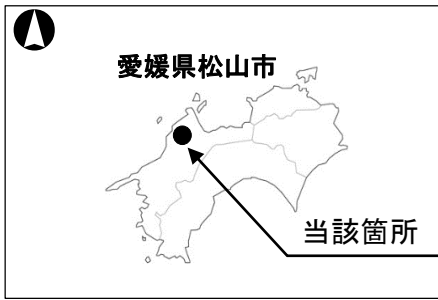
(例) 国道 11 号～松山空港：未整備（約 30 分）→松山外環状道路全線整備（約 12 分）

(6) 事業の効果

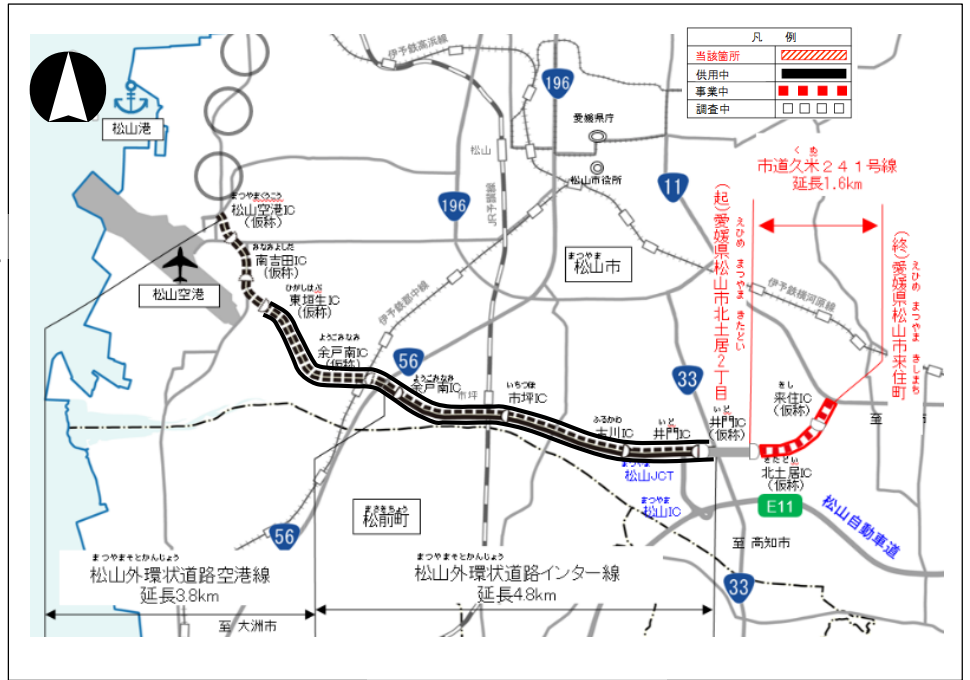
- ・ 松山都市圏の渋滞緩和
- ・ 路線周辺生活道路の安全性向上
- ・ 高速道路ネットワークの強化による、時間短縮や定時性確保による物流・人流の拡大
- ・ 観光地へのアクセス性の向上
- ・ 救急医療機関への速達性の向上
- ・ 災害時の緊急輸送ネットワーク機能の強化

事業概要

路線名 (工区名)	市道久米241号線	事業名	地高ICアクセス道路	補助/単独		補助	
事業主体	愛媛県松山市		事業箇所	松山市北土居2丁目～松山市来住町			
事業概要	目的	<p>市道久米241号線は、地域高規格道路松山外環状道路のうち、国道11号から国道33号までの区間（松山外環状道路インター東線（仮称））のアクセス道路として、松山市が整備する約1.6Kmの道路である。</p> <p>当該路線は、ICアクセス道路としてすでに整備が進んでいる国道33号から松山空港までの区間と合わせ、松山都市圏の渋滞緩和、物流効率化の支援、観光地へのアクセス性向上等を図るものである。</p>					
	内容	<p>◇整備延長 : L=1.6Km</p> <p>◇車線数 : 2車線</p> <p>◇設計速度 : 40Km/h</p>					
	都市計画上の位置づけ	<p>松山広域都市計画道路 3・2・3号 来住余戸線 (平成29年10月13日 愛媛県告示第1109号)</p>					
事業の必要性	社会的背景	<p>◇地域高規格道路 松山外環状道路の整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成9年2月 インター線（国道33号～松山IC） 一般道路暫定供用 ・平成26年3月 インター線（井門IC～古川IC） 一般道路・自動車専用道路開通 ・平成27年3月 インター線（市坪IC～余戸南IC） 一般道路・自動車専用道路開通 ・平成28年12月 インター線（古川IC～市坪IC） 自動車専用道路開通 ・平成29年9月 空港線（国道56号～県道伊予松山港線） 一般道路開通 <p>松山外環状道路の供用区間が伸びるごとに利用交通量が増加しており、周辺道路の交通量減少効果が発現している。</p> <p>（平成29年9月の空港線一般道路開通で、インター線市坪IC付近で自動車専用道路が4割増、周辺道路で1割から3割減少 国土交通省松山河川国道事務所HPより）</p>					
	必要性	<p>◇松山環状線や国道11号、国道33号の主要渋滞箇所（13箇所）で最大3割交通量が減少し渋滞緩和に繋がる。</p> <p>◇周辺生活道路からバイパスに交通転換され、生活道路への通過交通が減少し交通事故減少が見込まれる。</p> <p>◇松山空港、松山港と四国縦貫自動車道（松山IC）、国道11号・33号が連結されることにより高速道路ネットワークが強化され、時間短縮、定時性確保による物流・人流の拡大が期待できる。</p> <p>* 国道11号～松山空港：未整備（約30分）→松山外環状道路全線整備（約12分）</p>					
事業の有効性	効果	<ul style="list-style-type: none"> ◇松山都市圏の渋滞緩和 ◇路線周辺生活道路の安全性向上 ◇高速道路ネットワークの強化による、時間短縮や定時性確保による物流・人流の拡大 ◇観光地へのアクセス性の向上 ◇救急医療機関への速達性の向上 ◇災害時の緊急輸送ネットワーク機能の強化 					
	事業費等	<p>事業費：約82億円 費用便益比（B/C）：2.2</p>					
今後の予定	<p>本事業は、松山都市圏の交通転換、高速道路ネットワーク強化により、主要幹線道路の渋滞緩和、生活道路の通過交通減少による安全性向上など、事業の必要性・有効性が認められることから、新規着手の必要性がある。</p>						



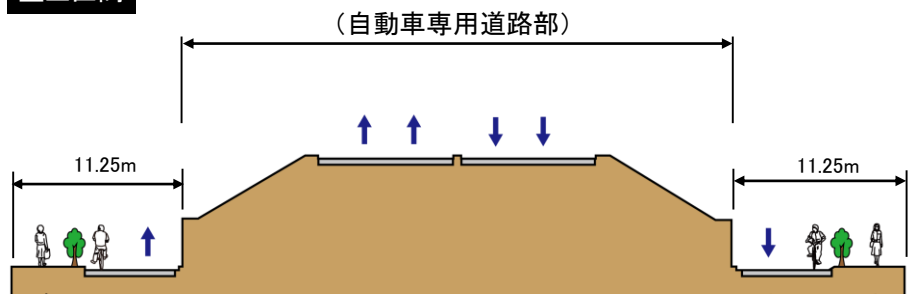
《広域位置図》



《詳細位置図》

《標準断面図》

盛土区間

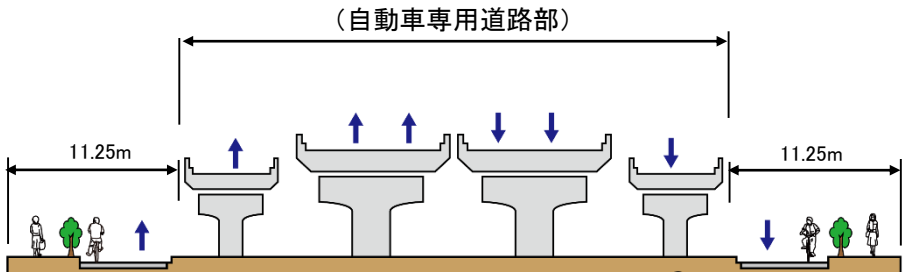


松山市施工(一般道路部)

国土交通省施工

松山市施工(一般道路部)

高架区間



松山市施工(一般道路部)

国土交通省施工

松山市施工(一般道路部)